



氏名 HM
所属 現代システム学部 マネジメント学科
学年 4年

留学先 深圳大学
留学期間 2024/9/1~2025/1/8

留学レポート Study Abroad Report

1. 中国での生活と学び

私が中国の深圳大学に留学した期間は新しい発見の連続でした。留学中にまず直面したのは、銀行口座の開設や決済手段の違いといった日常生活におけるギャップでした。しかしこれらは日本よりも便利な点が多く慣れれば物凄く住みやすく感じると思います。中国工商銀行は外国人でも口座開設がしやすい銀行として有名なので中国工商銀行をお勧めします。口座開設の際にデポジットとして100元の現金が必要でしたが、その後の生活では、現金を使う機会は一度もなく、決済は主にAlipayやWeChat Payを通じて行われます。これらのアプリでは、銀行口座やクレジットカードを紐付けて残高から直接引き落としを行うことが可能です。ただし、クレジットカードの場合は200元以上の支払いに3%の手数料がかかるため、銀行口座からの引き落としが経済的でした。

また、生活用品についても工夫が必要でした。日本から愛用している化粧水や洗顔料を持参することをおすすめします。私は無印良品の化粧水を使用していましたが、中国でも購入可能とはいえ、割高でした。特に肌が敏感な人にとって、自分に合う商品が現地で見つからない場合があるため、多めに準備することを強くお勧めします。服については必要最低限に抑え、現地で調達する方が荷物を減らせて便利でした。深圳は大型ショッピングモールが多く、日本とほぼ変わらない環境で服が購入できます。

2. 留学生活での課題と気づき

複数人部屋での生活は、日本と外国人学生の生活習慣の違いに直面する経験となりました。衛生観念や生活リズムが異なる学生と一緒に暮らす中で、衝突を避けるための協調性や柔軟性が求められました。日本では当たり前とされる清潔感や生活マナーが、外国では異なる価値観として存在しており、このギャップを受け入れることが精神的にしんどい時もありました。しかし、この経験を通じて、日本と外国の「当たり前」の違いを学び、異文化理解の重要性を深く実感しました。

また、宗教に関する新しい経験も印象的でした。イスラム教徒の学生たちと交流する中で、宗教が生活の中でどれほど大きな役割を果たしているかを学びました。彼らの考え方や文化には、理解できる部分もあれば、日本人の感覚では受け入れにくい部分もありました。この体験を通じて、多様な価値観を受け入れることの重要性を学ぶと同時に、異なる文化や宗教が共存する難しさを実感しました。

3. 深圳での出会いと香港旅行

深圳大学での留学中、現地で働く多くの日本人と交流する機会がありました。飲食店を経営している方、駐在員、現地社員など、多種多様なバックグラウンドを持つ人々との対話を通じて、自分の将来像やキャリア設計を見直すきっかけを得ました。特に日本ではあまり知られていないような、現地で活躍する日本人の存在を知ったことは、大きな刺激となりました。彼らの経験談を聞きながら、どのような努力や選択が彼らの現在を形作ったのかを学び、自分自身も将来の選択肢を広げるべきだと考えるようになりました。

また、深圳は香港に非常に近く、陸路で簡単にアクセスできることも魅力でした。出国検査が終わり歩いて2～3分ほどですぐに香港の入国検査を受けることは少し不思議な感覚でした。週末を利用して香港を訪れることができ、観光やショッピングを楽しみました。特にビクトリアピークからの夜景や、九龍の賑やかな街並み、香港のローカルフードなど、日本では味わえない体験を多くしました。深圳と香港の間の文化的な違いを観察することも非常に興味深かったです。

4. 留学の意義とこれから留学する人へのアドバイス

留学は単に言語を学ぶためだけのものではありません。その国で生活し、さまざまな人と出会い、多様な価値観や文化に触れることが最も重要です。私の場合、中国語の学習だけでなく、多くの人との交流や新しい経験を通じて、自己成長の機会を得ることができました。留学は言語習得以上に、人生そのものを豊かにする体験だと感じました。

これから留学を考えている人には、自分が本当に行きたい国を選び、その土地でしか得られない経験に目を向けてほしいと思います。特に、中国のように日本とは異なる文化や価値観を持つ国での生活は、困難も多いですが、それ以上に得るものが多いです。現地での人との出会いや生活の中で得た刺激は、きっと将来の財産となると思います。